

能登めぐり(石川県立図書館所蔵)

4つのテーマで探る

能登半島の最高峰

宝達山 自然と文化

我がまちのシンボル

10/16(金) ▶ 11/15(日)

会場 | 宝達志水町埋蔵文化財センター
開館時間 | 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
お問い合わせ | 宝達志水町埋蔵文化財センター
〒929-1343 石川県羽咋郡宝達志水町小川ハ249番地1
TEL.0767-28-5180 MAIL.bunkazai@town.hodatsushimizu.lg.jp
後援 | 北國新聞社

令和8年度 企画展

会期中無休・入場無料

宝達山を4つのテーマから探る

能登でいちばん高い山、能登半島の最高峰である宝達山（標高約637.4m）は、宝達志水町の東部に位置する町のシンボル。頂上付近から能登半島、日本海だけでなく、はるか白山や立山連峰まで望むことができるビュースポットとして知られています。宝達権現（宝達大明神とも）が鎮座する信仰の山であり、山の自然がもたらす豊富な恵みが「宝達」の名の由来とも言われ、麓に暮らす人々の生活を支えてきました。今回の展示では、宝達志水町のシンボルである宝達山について、「自然」「遺跡」「信仰」「産物」の各テーマ毎に写真パネルや資料を用いて紹介します。



宝達山頂のブナ林

自然 希少なブナ林と産物の源

宝達山には、山頂のブナ林をはじめとした豊かな自然が残されています。ブナ林や金など宝達山の植物や地質について、取り上げます。



縄文土器（上田うまばち遺跡）

遺跡 宝達山麓のくらしとものづくり

宝達山麓には、旧石器時代から生活の痕跡が確認されています。上田うまばち遺跡と押水・高松古窯跡群を中心に宝達山麓の遺跡を紹介します。



木造釈迦如来坐像（手速比咩神社所蔵）

信仰 人々の崇敬をあつめた宝達権現

宝達山の神は「宝達権現」と呼ばれ、山麓の人々から崇敬を集めました。人々が祈りを捧げた宝達権現について、神仏習合の観点から紹介します。



能登名跡志（金沢市立玉川図書館所蔵）

産物 産物多き山なれば宝達の名あり

「能登名跡志」によれば、宝達山の名前は「産物が多いことが由来」と説明されています。豊かな産物のうち、主に「金」「葛」「石灰」を取り上げ、古文書を用いて紹介します。

イベント情報

歴史講座

幕末期の加賀藩十村

講師：上田 長生 氏（金沢大学教授）

10月31日（土）14:00～15:30

展示解説

10月17日（土）「産物」 10月24日（土）「遺跡」

11月7日（土）「信仰」 11月14日（土）「自然」

時間は全て14:00～14:30 ※申し込み不要

先行公開

宝達志水町の歴史や文化を紹介する番組「宝達志水町歴史物語」のジュニアシリーズ第3弾を先行上映します

